

安全データシート

作成日 2018年10月04日
第1版 2018年10月

このSDSは、日本の法規制、JISZ7253:2012に準拠して作成されたものであり、日本以外の国の規制を満たすものではありません。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	次亜塩素酸ナトリウムクロス
製品コード	72150
供給者の会社名	オオサキメディカル株式会社
住所	名古屋市西区玉池町203番地
担当部門	品質・安全管理部
電話番号	052-501-2521
FAX番号	052-509-0265
推奨用途及び使用上の制限	器物クリーナー

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分外 自然発火性液体 区分外 自己発熱性化学品 区分外 水反応可燃性化学品 区分外
健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 急性毒性(経皮) 区分外 急性毒性(吸入:蒸気) 区分外 急性毒性(吸入:ミスト) 区分外 皮膚腐食性及び刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A 皮膚感作性 区分外
環境有害性	水生環境有害性(急性) 区分1 水生環境有害性(長期間) 区分1

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

皮膚刺激
強い眼刺激
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

保護手袋を着用すること。
保護眼鏡、保護面を着用すること。
取扱い後は手をよく洗うこと。
環境への放出を避けること。

<p>応急措置</p>	<p>皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。</p>
<p>保管</p>	<p>漏出物は回収すること。 換気の良い場所で保管すること。</p>
<p>廃棄</p>	<p>内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。</p>

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名

次亜塩素酸ナトリウム溶液含浸 除菌ワイパー

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水及び非危険有害成分	98.5～100%	非公開	非公開	非公開	非公開
次亜塩素酸ナトリウム	<1.5%	NaOCl	(1)-237	既存	7681-52-9

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。
周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。

特有の危険有害性

加熱により容器が爆発するおそれがある。
接触により皮膚や眼に炎症を起こすおそれがある。
火災時に刺激性、腐食性及び／又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

危険でなければ火災区域から容器を移動する。
火災の種類に応じて適切な消火剤を用いる。
避難して安全な距離から消火すること。熱に晒されると、破裂して重度毒性蒸気又は分解生成物を放出することがある。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護

空気式呼吸器(SCBA)を着用する。
防火服は火災時に限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外は近づけない。
風上に留まる。
低地から離れる。
作業者は適切な保護具(8. ばく露防止及び保護措置の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

環境に対する注意事項

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
環境中に放出してはならない。
希釈水は汚染を引き起こすおそれがある。

封じ込め及び浄化の方法・機材

危険でなければ漏れを止める。
少量の場合、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収する。後で廃棄処理する。
大量の場合、液体の前方にせきを作り、後で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

排気用の換気を行うこと。
眼に入れないこと。
皮膚との接触を避けること。
飲み込みを避けること。
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。
環境への放出を避けること。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件
保管場所には本製品を貯蔵し又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料
包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会 (2017年版)	ACGIH (2017年版)
水及び非危険有害成分	未設定	未設定	未設定
次亜塩素酸ナトリウム	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具
換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具
保護手袋を着用すること。

眼の保護具
保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具
顔面用の保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态
液体

形状
液体含浸ポリエステル布

色
無色透明

臭い

漂白剤の臭気

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

10.4

融点・凝固点

0°C

沸点、初留点及び沸騰範囲

100°C

引火点

不燃性

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

水と同じ

燃焼性(固体、気体)

適用されない

燃焼又は爆発範囲

不燃性

蒸気圧

水と同じ

蒸気密度(空気=1)

水と同じ

比重(密度)

1.04

溶解度

水に完全可溶

n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		不燃性
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし。
化学的安定性		通常の条件においては安定である。
危険有害反応可能性		加熱や酸との接触、光の影響下で分解し、塩素などの有毒で腐食性のガスを生じる。(ICSC)
避けるべき条件		加熱、直射日光。 混融危険物との接触。
混触危険物質		強酸化剤、酸類、苛性類、アンモニア。
危険有害な分解生成物		一酸化炭素、二酸化炭素、塩素ガス、酸化ナトリウム。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	成分の急性毒性値は、水及び非危険有害成分 5001mg/kg、次亜塩素酸ナトリウム 5800mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が5012mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	経皮	成分の急性毒性値は、水及び非危険有害成分 5001mg/kg、次亜塩素酸ナトリウム >10000mg/kgであり、混合物の急性毒性推定値が5040mg/kgのため、GHS:区分外に該当する。
	吸入(蒸気)	成分の急性毒性値は、水及び非危険有害成分5001ppmであるため、GHS:区分外に該当する。
	吸入(ミスト)	成分の急性毒性値は、水及び非危険有害成分 5001mg/kgであるため、GHS:区分外に該当する。(混合物の1.5%は毒性が未知の成分からなる。)
皮膚腐食性及び刺激性		次亜塩素酸ナトリウムが区分1、区分1の成分濃度×10が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2「皮膚刺激」に該当する。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度×10が濃度限界(10%)以上のため、GHS:区分2A「強い眼刺激」に該当する。
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。

皮膚感作性	すべての成分がいずれも区分外のため、GHS:区分外に該当する。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
吸引性呼吸器有害性	データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性)	次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度×毒性乗率の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分1「水生生物に非常に強い毒性」に該当する。
水生環境有害性(長期間)	次亜塩素酸ナトリウムが区分1で、区分1の成分濃度×毒性乗率の濃度合計が濃度限界(25%)以上のため、GHS:区分1「長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性」に該当する。
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の附属書に列記されたオゾン層破壊物質を含まないため分類されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。</p> <p>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。</p> <p>廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。</p>
汚染容器及び包装	<p>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。</p> <p>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>

14. 輸送上の注意

国際規則	Regulatory Information by Sea	Not dangerous goods
国内規制	Regulatory Information by Air	Not dangerous goods
	陸上規制	非該当
	海上規制情報	非危険物
	航空規制情報	非危険物

特別の安全対策	<p>輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。</p> <p>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。</p> <p>重量物を上積みしない。</p>
緊急時応急措置指針番号	なし
15. 適用法令	適用される主たる法令はなし。
16. その他の情報	
連絡先	オオサキメディカル株式会社
参考文献	<p>NITE GHS分類公表データ</p> <p>記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における化学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。</p>